

第73号【2012/9/1 発行】

発行者：昭和大学横浜市北部病院

●巻頭言

『情と知：話してもわからない』

メンタルケアセンター 准教授 堀 宏治

●外来担当表

●医師の配属・異動・退職

●診療統計

●患者様へのお知らせ・お願い



まだまだ暑い日が続きそうです

巻頭言

『情と知：話してもわからない』



メンタルケアセンター
准教授 堀 宏治

人は3つの要素の観点から行動の意志を決定します。“快不快”“得損”“善悪”の3つの観点です。“快不快”の判断とは、情動により一義的に感じる“いい、いや”が行動判断の基準になり、“これは楽しいからやる”“これは嫌だからやらない”こととなります。“得損”と“善悪”の判断は、“嫌だけどこれをやれば将来にプラスになるからする”“やりたいけどこれは正しいことでないからやらない”ことなどです。幼少時は行動判断の基準として“快不快”が中心となりますが、人間として成熟するにつれ“得損”と“善悪”がその中心となります。当然、(精神的な意味において)立派な人間は“善悪”がその中心となりますし、そうでない場合は“得損”がその中心となります。通常の間人は、“得損”判断と“善悪”判断が半々なのではないでしょうか。

人間の世の中で生活すると“得損”が判断基準の中心となる人間ばかりが集まると己の“得損”ばかりを“主張し(と言うより、正しそうに見える(善に見える)理屈をつけ)”対立が起こることがあります。時に“得損”が判断基準の中心となる人間と“善悪”が判断基準の中心となる人間との間は、“得損”が判断基準の中心となる人間に対して、“善悪”が判断基準の中心となる人間が譲ってしまうことがあります。よく、“知情意”と言いますが、人は情動中心型コンピューターであり“知情意”ですから、結局

は知的な部分に訴えかけても、もとの情の部分に働きます。こうした対立は時として“快不快”を表面だたせ、悲しい結末になることがあります。“話せば分かる”と言うものではなく、“話しても分からない”ものなのです(若い頃、生活保護で病的飲酒を続けている患者さんに対して、“人の税金で酒を飲んで”と言ったら、“こっちだって間接税の納入率は抜群に高い”と言い換えされたことがありました)。

精神疾患に罹患し、慢性的に経過すると(精神的発達の段階がより幼少にもどる退行という現象が起こると)行動判断の基準が“快不快”となることもあります。究極のところ、“これは楽しいからやる”“これは嫌だからやらない”ことだけが、行動の判断になってしまうことがあるからです。認知症も実はこういうところがあります。情の部分(いわゆる大脳辺縁系の機能)をコントロールする知の部分(いわゆる大脳皮質系の機能)の機能低下が極わずかな時は、情の部分への抑制欠如という形で現れます。ですから、認知症の本当の初期症状は“情の部分に対する知の部分の抑制欠如”，言いかえれば「本音を建前がコントロールできない」こととなります。やっぱり、ここでも“話しても分からない”ものなのです。“行動判断の子供(幼児)返り”が認知症なのです。

知能が発達する幼児、学童、青年では集団の中で、生活し、行動することで、“快不快”を捨てて、“善悪”で判断し、実行することを覚える(学ぶ)ことが大切なことです。人間は人間の中にいないと成長しません。認知症の場合では、たとえ初期の場合であっても残念ながら集団の中で、生活し、行動することで、“快不快”を捨てて、“善悪”で判断し、実行することを覚える(学ぶ)ことは不可能です。ただし、認知症の方は、昔は“快不快”を捨てて、“善悪”で判断していました。また、本当の初期の認知症の方は、“身内中心の所(例えば、家の中)”にいるのか、“人様(他人)中心の所(例えば、病院)”にいるのかは分かります。“身内中心の所”では行動判断が“快不快”中心になり、“人様(他人)中心の所”では行動判断が“善悪”中心になります。行動判断が“快不快”中心になればとても楽ですが、“善悪”中心になればとても疲れます。この疲れがあることが、夜間を良眠にし、ご飯を美味しくさせますし、何より、“善悪”中心になれば“頭を使います”。頭を使わないと“廃用性萎縮”になります。そうすると知能は益々低下するのです。(昔、ラクビーの選手に「もっと頭を使え」とヤジを飛ばしたら、その選手は頭づきをしたそうです「意味が違ううちに」)。だから、他人との接触の機会が少なくなった高齢者の方ほど、人間の中に入ってゆくことは大切です。ここでも、人間は人間の中にいないと成長しないということになります。

と今まで偉そうに言ってきた私はどうなのでしょう？やっぱり、仕事場にいるより、家にいる方が楽しいです。まだまだ、修行が足りません。人は私のことを“未熟者”と言いますが、本人には“若い”と聞こえています(笑)。年のせいか耳が悪くなってきました。また、最近、年のせいか目の遠近調節は出来なくなりました。コンタクトレンズをして、手元の字を読むことは出来ません。でも、手を伸ばして読むと何とか読むことが出来ます。私はまだ、“離せば分かる”人間です。

外来担当表

平成24年9月1日現在

外来予定は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。

診療科	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
呼吸器科	鹿間 裕介 (初診)	澁谷 泰弘 (再診)	鈴木 隆 (初診・呼吸器外科)	並原 慶太 (再診・喘息)	担当医局員 (初診)	担当医局員 (喘息専門外来)	並原 慶太 (初診・喘息・その他)	堀内 一哉 (再診)	北見 明彦 (初診・呼吸器外科)	石井 源 (再診)	担当医局員 (初診)
	並原 慶太 (再診)	並原 慶太 (再診)	青木 明子 (初診)	担当医局員 (喘息専門外来)	中神 和清 (再診・第2・4)	鈴木 隆 (再診・呼吸器外科)	植松 秀護 (初診・呼吸器外科)	神尾 義人 (再診・呼吸器外科)	丹澤 盛 (初診)	丹澤 盛 (再診)	
	北見 明彦 (再診・呼吸器外科)		並原 慶太 (再診)	井上 七重 (初再診)		鹿間 裕介 (再診)	鹿間 裕介 (再診)		藤崎 恭子 (初再診)	萩原 洋輔 (再診)	
	鈴木 浩介 (初診)	萩原 洋輔 (再診)	鹿間 裕介 (再診)			北見 明彦 (再診・呼吸器外科)	鈴木 浩介 (再診)	肥田 典子 (再診)	鹿間 裕介 (再診)	肥田 典子 (再診)	青木 朗子 (再診)
		藤崎 恭子 (再診)	堀内 一哉 (再診)				丹澤 盛 (再診)				
消化器科	山村 冬彦(内)	山村 冬彦(内)	工藤 進英(外)	小鷹 紀子(外)	石田 文生(外)	久行 友和(内)	大越 章吾(内) 第4・矢野 雅彦 (内)	大越 章吾(内)	小形 典之(内)	小形 典之(内)	木田 裕之(外)
	林 武雅(内) (予約のみ)	林 靖子(内)	田中 淳一(外)	上部内視鏡外来	若村 邦彦(内)	若村 邦彦(内)	里館 均(外)	里館 均(外)	木田 裕之(外)	ストーマ	井上 晴洋(外)
	児玉 健太(内)	児玉 健太(内)	井上 晴洋(外)	井上 晴洋(外)	和田 祥城(内)	和田 祥城(内)	良沢 昭銘(内)	良沢 昭銘(内)	春日 井 尚(外)	春日 井 尚(外)	大腸外科外来
	(交 替)	出口 義雄(外)	(交 替)	(交 替)	岩下 彰(第2)	(交 替)	森 悠一(内)		宮地 英行(内)	宮地 英行(内)	(交 替)
		(交 替)			日高 英二(外)	日高 英二(外)	(交 替)	山村 冬彦(内)	(交 替)	(交 替)	
心臓血管カテーテル室	落合 正彦										
	磯村 直栄		岡部 俊孝		小原 千明		荒木 浩		薬師寺 忠幸		(交 替)
	星本 剛一		荏原 誠太郎		山本 明和		藤倉 寿則		山下 賢之介		
循環器科 (先天性心疾患)	富田 英	藤本 一途 (第1.3 10:30～)	上村 茂	富田 英 (成人先天性心疾患)	【カテーテル治療】	百々 秀心(第1) 文彦(第2・3・4) (胎児心疾患)	富田 英	藤井 隆成	上村 茂	喜瀬 広亮	(交 替)
循環器科 (心臓血管外科)	伊藤 篤志	伊藤 篤志		【手術日】	伊藤 篤志	伊藤 篤志	【手術日】	【手術日】	石野 幸三	櫻井 茂	伊藤 篤志
リハビリセンター (初診)	堀 宏治 (精神全般・認知症)	堀 宏治 (精神全般・認知症)	吉益 晴夫	吉益晴夫・富岡大 (第1・3・5)(第2・4)	工藤 行夫 (精神全般・統合失調症)	工藤 行夫 (精神全般・統合失調症)	秋田 亮	秋田 亮	内田 充彦	内田 充彦	青木 麻梨
リハビリセンター (再診)		富岡 大	秋田 亮	押尾 照範	堀 宏治	堀 宏治	吉益 晴夫	吉益 晴夫 (解離性障害)	工藤 行夫	吉益 晴夫 (高次機能障害)	山田 英介
		青木 麻梨	医局員		富岡 大	菊池 優		横山 佐知子	笹森 大貴	青木 麻梨 (双極2型障害) (第2・4)	
緩和ケア(麻酔科)		東 一成					菊池 優	幾瀬 大介	堀宏治(老年期)		
	岡本 健一郎 (事前予約制)					岡本 健一郎 (事前予約制)				岡本 健一郎 (事前予約制)	
内科	滝西 安隆 (内科腫瘍)(予約のみ)	滝西 安隆 (内科腫瘍)(予約のみ)	滝西 安隆 (内科腫瘍)(予約のみ)	滝西 安隆 (内科腫瘍)(予約のみ)	菊島 修示 (循環器不整脈) (内科)	菊島 修示 (循環器不整脈) (内科)	朝倉 慶 (内科)	朝倉 慶 (内科)	滝西 安隆 (内科腫瘍)	滝西 安隆 (内科腫瘍)	土曜初診
	衣笠 えり子 (内科腎臓)	福井 俊哉 (内科腎臓)	吉田 典世 (内科)	吉田 典世 (内科)	衣笠 えり子 (内科腎臓)	衣笠 えり子 (内科腎臓)	坂下 晴子 (内科血液)	坂下 晴子 (内科血液)	小田井 剛 (リウマチ・膠原病)	川崎 仁志 (神経疾患)	宮下 耕一郎 (高次機能障害)
	坂下 晴子 (内科血液)	坂下 晴子 (内科血液)	福井 俊哉 (内科神経)	福井 俊哉 (内科神経)	木村 聡 (内科・感染症)	木村 聡 (内科・感染症)	福井 俊哉 (内科神経)	福井 俊哉 (内科神経)	福井 俊哉 (内科神経)	福井 俊哉 (内科神経)	遠藤 浩之(第1・3) (内科)
	金野 竜太 (内科神経)	山崎 貴博 (内科神経)	山崎 貴博 (内科神経)	中山 文義(腎) (第2・4・5)	金野 竜太 (内科腎臓)	滝西 安隆 (内科腫瘍)	加藤 雅典 (内科腎臓)	加藤 雅典 (内科腎臓)	伊藤 英利 (内科腎臓)	伊藤 英利 (内科腎臓)	佐原 徹(予約のみ) (糖尿病、内分泌)
	齋藤 佳範 (内科)	井上 稜 (糖尿病、内分泌)	加藤 憲 (内科腎臓)	山本 泰漢 (内科消化器)	伊藤 英利 (内科腎臓)	熊田 千晶 (内科腎臓)	田口 進 (内科消化器)	田口 進 (内科消化器)	山本 真寛 (内科腎臓)	山本 真寛 (内科腎臓)	山本 泰漢 (内科消化器)
	田口 進 (内科消化器)	成島 道昭 (内科)	久松 萬 (内科)		山本 真寛 (内科腎臓)	女性専門外来 (予約のみ)	成島 道昭 (内科)	成島 道昭 (内科)	成島 道昭 (内科)	成島 道昭 (内科)	遠藤 浩之(第1・3) (内科)
	佐原 徹(予約のみ) (糖尿病、内分泌)	佐原 徹(予約のみ) (糖尿病、内分泌)	辻 正富 (糖尿病、内分泌)	辻 正富 (糖尿病、内分泌)	佐原 徹(予約のみ) (糖尿病、内分泌)	佐原 徹(予約のみ) (糖尿病、内分泌)	手塚 悠 (内科)	手塚 悠 (内科)	佐原 徹(予約のみ) (糖尿病、内分泌)	佐原 徹(予約のみ) (糖尿病、内分泌)	辻 正富 (確定)
	宮下 耕一郎 (内科消化器)				小林 弘治 (内科腫瘍)	加賀 康宏 (内科)	齋藤 佑介 (内科腫瘍)	齋藤 佑介 (内科腫瘍)	伊東 友弘 (内科腫瘍1・2・3)	伊東 友弘 (内科腫瘍1・2・3)	三代川 幸雄 (内科消化器)
	齋藤 佑介 (内科腫瘍)		熊田 千晶 (内科腎臓)	松浦 弓恵 (内科腎臓)							臼井 一郎(第2・4) (内科検査)
		13:00～14:00 高橋 健 (内科腎臓)	三代川 幸雄 (内科消化器)	三代川 幸雄 (内科消化器)	布上 敏和 (内科)						
小児科	梅田 陽	神経外来	梅田 陽	乳児検診	北澤 重孝	アレルギー外来	梅田 陽	成育外来 (第2・4)	北澤 重孝	乳児検診	三輪(第1・3・5) 本多(第2・4)
	大戸 秀恭	予防接種	三輪 善之	フォローアップ外来	大戸 秀恭	腎臓外来 近(第3)	心臓外来	心臓外来 (西園)	三輪 善之	フォローアップ外 来	渡邊(第2・4)
	北澤 重孝	腎臓外来 (本多)	本多 貴美子	血液内科(第4)	本多 貴美子	心理相談	井上 真理	口腔発達 (第2・4)	大戸 秀恭	心理相談	大戸(第1・3・5) 上松(第2)
小児外科		鈴木 孝明		大橋 祐介		鈴木 孝明	心理相談	大橋 祐介			鈴木孝明(第1・3・5) 大橋祐介(第2・4)
		渡井 有(4/16～)		田山(14:00～15:00) 中津(15:00～16:00)		田山(14:00～15:00) 中津(15:00～16:00)		渡井 有(4/16～)			
皮膚科 (初診)	杉山 美紀子		中田 土起文		齋藤 美穂		杉山 美紀子		中田 土起文		(交 替)
皮膚科 (再診)	中田 土起文 齋藤 美穂	【手術日】	杉山 美紀子 齋藤 美穂	【手術日】	殿岡 永里加 島田 洋子	【手術日】	殿岡 永里加 島田 洋子	【手術日】	殿岡 永里加 齋藤 美穂 杉山 美紀子	【手術日】	(交 替)
外 科	中村 明央 (第3以外)	中村 明央	福成 信博 (予約のみ)		新井 一成		新井 一成	岩浪 正英(第3)	山崎 智巳		中村 明央(第1・3) 新井 一成(第2・4)予約のみ
	坂上 聡志 (予約のみ)		外科医師限定		山崎 智巳	山崎 智巳	中村 明央	井関 雅一(第2・4)	福成 信博(予約のみ) (第1・2・3・5)		梶澤由博(第1・3) 山崎 智巳(第2・4)
	福成 信博 (完全紹介予約制) (第1・2・4初診限定)				柏瀬 上尚 (第2・4)						坂上 聡志 (第1・3・5)
形成外科	大塚 尚治	【手術日】	【手術日】	【手術日】		【手術日】	【手術日】	【手術日】	大塚 尚治	【手術日】	大塚(第1(予約のみ)・第3)
	久保田 夏枝	【手術日】	【手術日】	【手術日】	久保田 夏枝	【手術日】	【手術日】	【手術日】	久保田 夏枝	【手術日】	久保田 夏枝(第2・4)
脳神経外科	池田 尚人	池田 尚人 (診断書外来)			池田 尚人			松本 浩明 (予約のみ)	池田 尚人		休診
											池田(第1)(予約のみ)
整形外科	初診医	初診医	川崎 恵吉	初診医	中村 正則	初診医	初診医	古槻(第2・4)	初診医	尾又 弘晃	(交 替)
	川崎 恵吉	装具診	三雲 仁 前田昭彦 (第1・3・5)	松久 孝行	装具診	三雲 仁	三雲 仁	三雲 仁	松久 孝行		遠見 範幸 (第1・3)
	前田 昭彦	西山嘉信 (予約のみ)	リウマチ診(小田井)	尾又 弘晃		中村 正則 (第3休診)					
		石原 陽平	リウマチ診 (並木・王・相原)	王 興栄		川崎 恵吉			石原 陽平		
産婦人科 (初診)	小川/(栗城)	佐々木 康		折坂 勝	安藤 直子		安藤 直子		小川 公一		(交 替)
産婦人科 (産科)	大森 明澄	小川 公一	佐々木 康	佐々木 康	岡田 裕美子		岡田 裕美子		安藤 直子		
産婦人科 (産科)	荒川 香	折坂 勝		松野 亮介	三村 貴志		三村 貴志		真井 博史	特殊診 (予約のみ)	
産婦人科 (婦人科)	真井 博史	安藤 直子	特殊診 (予約のみ)	荒川 香	佐々木 康		佐々木 康		三村 貴志	特殊診 (予約のみ)	(交 替)
泌尿器科 (初診)	永田 将一		折坂 勝						大森 明澄		
泌尿器科 (再診)	島田 誠	島田(女性外来) (予約のみ)	齋藤 克幸	井上 克己	松原 英司 (予約のみ)		永田 将一	前田 智子 (予約のみ)	島田 誠	椎木 一彦	(交 替) (初再診)
泌尿器科 (検査)		前田(女性第2外来) (予約のみ)									
眼科	長谷川 裕基		南 雅之	南 雅之	藤澤 邦見	遠藤 貴美 (特殊診)	藤澤 邦見	藤澤 邦見 (第2休診)	井上 浩太(交替制) (第1.3.5)		(交 替)
	南 雅之		遠藤 貴美		井上 浩太		井上 浩太	井上 浩太	南 雅之(交替制) (第1.3.5)	南 雅之	(交 替)
	嶋田 摂也	嶋田 摂也	長谷川 裕基	長谷川 裕基	長谷川 裕基		嶋田 摂也	嶋田 摂也	嶋田 摂也	遠藤 貴美(第2・4 交替制)(特殊診)	
耳鼻咽喉科	門倉 義幸 (初診)	腫瘍甲状腺外来 (予約のみ)	山田 良宣 (初診)		(医局員) (初診)	補聴器外来M (予約のみ)	藤 美紀 (初診)	浜崎 泰佑 (予約のみ)	(医局員) (初診)		(医局員) (初診)
	山田 良宣 (再診)		野垣 岳穂 (再診)	滝口 修平 (予約のみ)			門倉 義幸 (再診)	門倉 義幸 (第1・3・5予約のみ)			
		藤 美紀 (予約のみ)						補聴器外来N (予約のみ)			
歯科	渡辺 仁資 (初診)	渡辺 仁資 (再診)	木下 潤一郎 (再診)	木下 潤一郎 (再診)	渡辺 仁資 (初診)	渡辺 仁資 (再診)	渡辺 仁資 (初診)	渡辺 仁資 (再診)	渡辺 仁資 (初診)	渡辺 仁資 (初診)	渡辺 仁資 (初診)
	青山 慶太 (再診)	青山 慶太 (再診)	青山 慶太 (再診)	青山 慶太 (再診)	吉田 裕子 (再診)	吉田 裕子 (再診)	青山 慶太 (再診)	青山 慶太 (再診)	青山 慶太 (再診)	青山 慶太 (再診)	青山 慶太 (再診)

◎放射線治療の外来日は、月火水金：肥澤医師です。

◎リハビリ科外来日は、第2・4水曜日午後：真野医師です。

◎歯科は完全紹介予約制です。

◎メンタルケアセンターは完全予約制です。

医師の配属・異動・退職

新規配属医師

7月～8月

【新規採用】



山田 新
(麻酔科)
東京女子医科大学
平成11年卒



内田 美穂
(女性骨盤底再建センター)
東邦大学
平成15年卒

【附属施設より】



藤井 隆成
(循環器センター)
医学部
小児科学講座より



野垣 岳稔
(耳鼻咽喉科)
医学部
耳鼻咽喉科学講座より



村川 哲郎
(こどもセンター)
医学部
小児科学講座より

【配置転換】

□高柳 大輔 (消化器センター ⇒ 救急センター)

□中原 健太 (救急センター ⇒ 消化器センター)

【学外研修終了】

□薬師寺 忠幸 (心臓血管カテーテル室)

□杉原 雄策 (消化器センター)

□石垣 智之 (消化器センター)

□前田 康晴 (消化器センター)

□加藤 雅典 (内科)

□山下 皓正 (外科)

□松平 真悟 (消化器センター)

異動・退職医師

7月～8月

【附属病院へ】

□遠武 孝祐 (産婦人科 ⇒ 医学部産婦人科学講座へ)

□許 芳行 (耳鼻咽喉科 ⇒ 医学部耳鼻咽喉科学講座へ)

【長期学外出張】

□逸見 範幸 (整形外科)

□谷坂 優樹 (消化器センター)

□田場 久美子 (消化器センター)

□齋藤 重男 (心臓血管カテーテル室)

□鈴木 道隆 (消化器センター)

□岡ジエリ 由衣 (消化器センター)

【退職】

□武重 由衣 (内科)

□垣本 哲宏 (消化器センター)

診療統計

2012年6月～7月統計データ()内は1日平均

診療実日数 6月 (入院: 30日・外来: 26日)、7月 (入院: 31日・外来: 25日)

	外来患者数	入院患者数	救急搬送数	手術件数
6月	31,785人(1,222.5人)	17,156人(571.9人)	251件(8.4件)	629件(30.0件)
7月	32,855人(1,314.2人)	18,041人(582.0人)	372件(12.0件)	676件(32.2件)

患者様へのお知らせ・お願い

携帯電話・パソコンの使用可能エリアが拡大されました

平成24年7月17日より、下記のとおり携帯電話・パソコンの使用可能エリアが拡大されました。使用可能エリアではマナーモードに切り替えて、周囲の方に迷惑がかからないよう十分に注意してご使用ください。

【使用可能エリア】

携帯電話	携帯電話 (通話以外のみ)	パソコン
中央棟9階 レストラン 個室 各階 デイルーム(窓側座席のみ) 各階 エレベーターホール 各階 公衆電話エリア 中央棟3階 患者待合エリア 中央棟2階 西棟連絡通路口 中央棟地下1階 時間外出入口 西棟1階 人間ドック内	中央棟9階 レストラン 4床室、5床室、個室 各階 デイルーム(窓側座席のみ) 各階 エレベーターホール 各階 公衆電話エリア 中央棟3階～地下1階 西棟1階 人間ドック 西棟産科外来	中央棟地下1階 時間外入口 中央棟1階 公衆電話エリア 中央棟2階 西棟連絡通路 各階 エレベーターホール 各階 デイルーム(一部座席を除く) 個室 西棟1階 人間ドック内 西棟2階 エレベーターホール

患者様へのお知らせ・お願い

総合相談センター通信

vol. 6

《お薬の相談について》

総合相談センターでは、患者様からのご相談内容により専門のスタッフが応じています。今回は、お薬についてのご質問・ご相談について薬剤師からお話します。

ご質問の例を上げてみます。

- ①何の病気に効く薬ですか？
- ②いつ、飲めばいいですか？（使い方は？）
- ③何錠のみますか？
- ④お薬はどのような働きをしていますか？
- ⑤のみ忘れた時どうすればいいですか？また、間違えてのんでしまった時は？
- ⑥どこに保管すればいいですか？
- ⑦いつまで有効に使えますか？
- ⑧お薬を数種類のんでいますが大丈夫ですか？
- ⑨他の病院（医院）から薬をもらいましたがのみ合わせて大丈夫？
- ⑩身体に悪い影響はありますか？ どのような症状がでますか？ どの位の頻度ですか？ 重篤なことはありますか？
副作用症状が疑われた時はどうしたらいいですか？
アレルギー症状が出現した時はどうしたらいいですか？
- ⑪化学療法を受けているけどお薬について詳しく知りたいのですが。
- ⑫その他：後発薬品と先発薬品との違いはありませんか？
お薬の値段は店（薬局）によって違いますか？
薬が大きくて飲みにくいです。（うまくのめない）どうしたらいいですか？

等々

このようにお薬の評価を含め、使用方法や注意事項にいたるまで質問事項は多岐に渡りご相談内容も様々なようです。また、入院治療を受けてられる方、外来に通院中の方、そのご家族の方、いろいろな立場からのご相談・ご質問があります。担当の先生に聞き忘れたこと、お薬の疑問を持たれていること、判断に困ることもあると思います。

入院中の患者様、ご家族の方は病棟担当薬剤師がご相談に応じています。外来診療中の患者様、ご家族の方は、かかりつけ薬局の薬剤師さんに相談すると良いと思います。納得できる説明をしていただければと思いますが、お薬に対するご相談がある場合はお気軽に総合相談センターにお声をかけて下さい。ご相談のお手伝いが出来ればと思っています。また、外来化学療法での専門的なお薬についてお知りになりたい場合は、がん薬物療法認定薬剤師がご説明いたします。

患者様からの貴重なご意見やご相談をいただき、心こもる対応を心がけますのでよろしくお願い致します。

総合相談センター 担当薬剤師 坂田 穰

秋季公開講座を開催します

- 日時：平成24年10月13日（土） 13時30分～16時30分
- 場所：昭和大学横浜市北部病院 西棟4階講堂
- 受講料：無料

第1講演：「膝痛・足痛について」 講師：中村 正則（整形外科・准教授）

第2講演：「気管支ぜんそく～最近の治療について～」 講師：堀内 一哉（呼吸器センター・助教）

※事前申込みは不要です。当日、直接会場へお越し下さい。

編集後記

日中はまだまだ暑いとはいえ、朝晩の風は幾分か心地良く、早くなつた夕暮れには涼やかな秋の虫の音が聞かれるようになりました。今夏も高齢の方を中心に熱中症や暑さで体調を崩す方が多くみられました。これからの季節、栄養をたっぷり摂り、運動で身体を鍛え、たっぷり睡眠時間を確保し、夏の疲れを取りたいものです。季節の巡りは早く、熱中症が心配された季節からインフルエンザや感冒が猛威を振るう季節も直ぐにやってきます。新型インフルエンザ騒動から時は流れ、関心が薄れていますが、早めのインフルエンザの予防接種をお願いします。最近では肺炎の原因菌である肺炎球菌に対するワクチン接種も65歳以上の方には推奨されています。エルニーニョ現象が出現していることから、暖冬が予想されていますが、冬の準備は抜かりなく。

広報委員会 委員 緒方 浩顕

北部病院だより 第73号

平成24年9月1日発行

発行責任者 田口 進（昭和大学横浜市北部病院長）

編集責任者 衣笠 えり子（広報委員会 委員長）

発行 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000（代表）

URL：http://www10.showa-u.ac.jp/~hokubu/

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がご覧いただけます。